

株式会社クルーバー
2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022年2月14日

東証JASDAQ（スタンダード）
証券コード：7134

- ・ 12/23東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場
- ・ 直営店の売上高対前年比は全店で103.1%、既存店で104.6%と好調に推移
- ・ 12月アップガレージ圏央厚木インター店（直営店）オープン
- ・ 通期連結業績予想及び配当予想を上方修正（2/7開示）

2022年3月期3Q連結業績サマリー



※2021年3月期3Q数値については、非上場であったため、監査法人の監査を受けておりません。

(単位：百万円)	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	7,410	7,821	410	5.5%
営業利益	426	532	105	24.7%
経常利益	443	531	88	19.9%
四半期純利益	291	315	24	8.3%

- ・ 直営店の好調により売上高は前期比5.5%増加
- ・ 利益率の改善・上昇により営業利益は前期比24.7%増加
- ・ 営業利益率は前期から1.0%増加の6.8%

2022年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正



(単位：百万円)	2021年3月期 (参考)	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	9,922	10,230	10,475	245	2.4%
営業利益	448	560	660	100	17.9%
経常利益	465	551	663	112	20.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	290	355	400	45	12.7%
配当予想	48.50円	40.00円	45.00円	-	-

- ・ 直営店及びEC販売の好調、コスト削減による販管費の減少を織り込み、
2022年3月期通期連結業績予想を上方修正
- ・ 配当予想は当初予想から5円増加の1株当たり45円

(単位：百万円)	2022年3月期 3Q	前回発表予想	今回修正予想	進捗率
売上高	7,821	10,230	10,475	74.7%
営業利益	532	560	660	80.7%
経常利益	531	551	663	80.1%
親会社株主に帰属する四 半期（当期）純利益	315	355	400	78.9%

- ・ 上方修正後の2022年3月期通期連結業績の進捗は売上高74.7%、営業利益80.7%、経常利益80.1%、親会社株主に帰属する当期純利益78.9%と順調に推移

	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	通期計画
売上総利益率	39.6%	41.8%	41.3%
営業利益率	5.8%	6.8%	6.3%
直営店既存店売上高 対前年比	105.9%	104.6%	101.0%
直営店EC売上比率	21.5%	22.5%	21.0%
東京タイヤ流通センター 新規加盟店数	5	14	30

- ・ 売上総利益率、営業利益率ともに通期計画を上回る
- ・ EC売上比率の上昇が売上高・利益率の増加に寄与

2022年3月期3Q連結主要販管費



(単位：百万円)	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	増減額	増減率
人件費	1,105	1,264	159	14.4%
広告宣伝・プロ モーション費	263	301	38	14.5%
地代家賃	295	294	△0	△0.3%
減価償却費	123	110	△12	△10.2%

- ・ 新卒入社による人員増加によって人件費が増加
- ・ 前期はコロナ禍によるプロモーション活動の自粛等があったため前期比で
広告宣伝・プロモーション費が増加

連結貸借対照表



(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期 3Q	増減額
流動資産	2,315	3,683	1,368
現金及び預金	827	2,042	1,215
売掛金	754	944	189
商品	584	574	△9
固定資産	1,689	1,770	80
有形固定資産	858	909	50
無形固定資産	191	266	74
資産合計	4,005	5,453	1,448

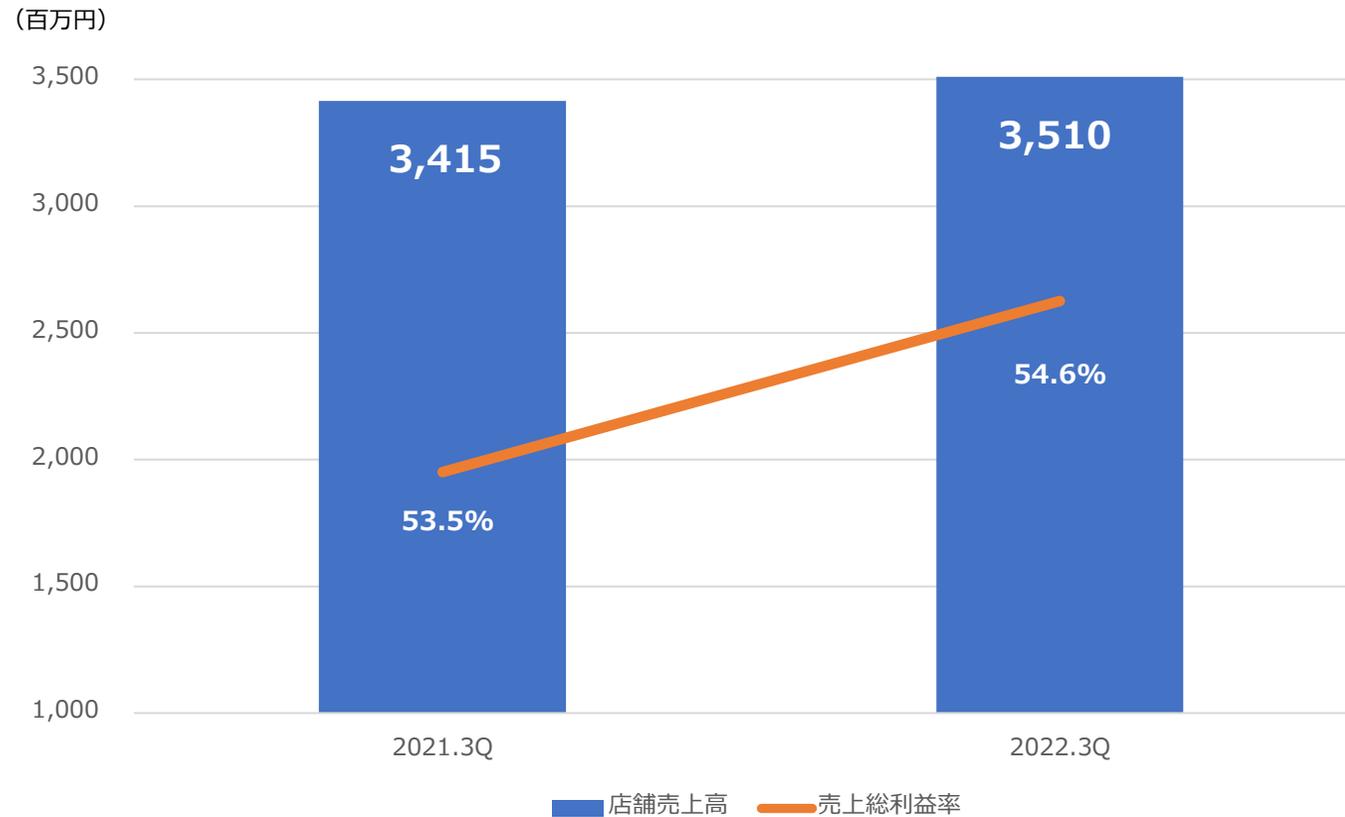
(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期 3Q	増減額
流動負債	1,814	2,033	219
買掛金	468	598	129
短期借入金	400	900	500
未払法人税等	151	91	△59
固定負債	419	419	0
負債合計	2,234	2,452	218
純資産合計	1,771	3,001	1,230
負債純資産合計	4,005	5,453	1,448

- ・ 12/23上場による10億の資金調達により自己資本比率は55.0%に増加
- ・ 新規出店、システム投資により固定資産が増加

会社別売上分類一覧

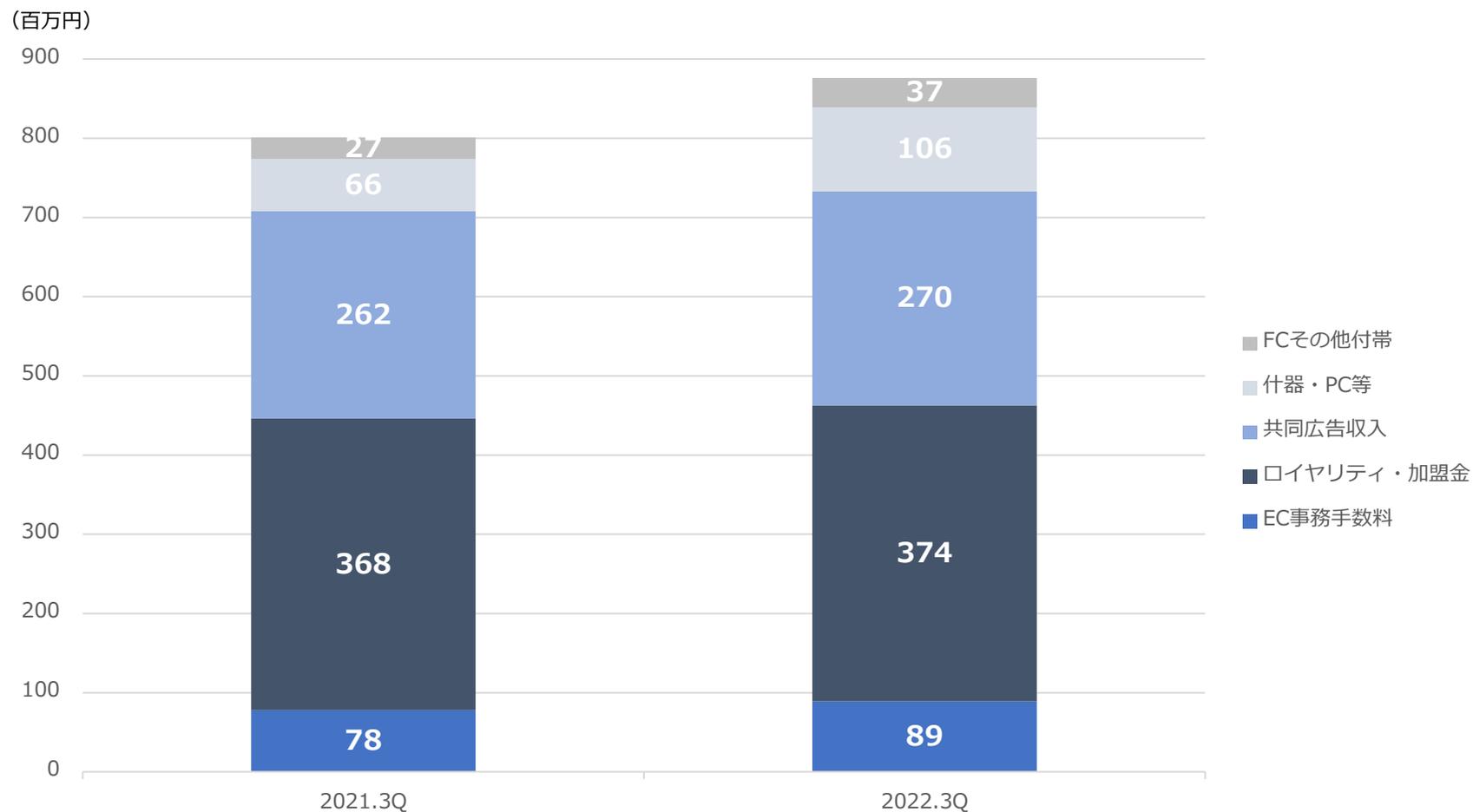


(単位：百万円)		2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	増減額	増減率
(株)アップガレージ リユース業態	店舗売上	3,415	3,510	95	2.8%
	海外EC	179	195	15	8.9%
	EC手数料	78	89	11	14.1%
	FCロイヤリティ等	724	789	65	9.0%
	本部・その他	223	279	56	25.1%
(株)ネクサスジャパン 流通卸売業態	東京タイヤ流通センター	1,950	1,926	△24	△1.3%
	ITプラットフォーム	1,470	1,605	135	9.2%
(株)クルーバー		534	576	41	7.8%
	連結調整	△1,166	△1,151	15	△1.3%
連結売上高		7,410	7,821	410	5.5%

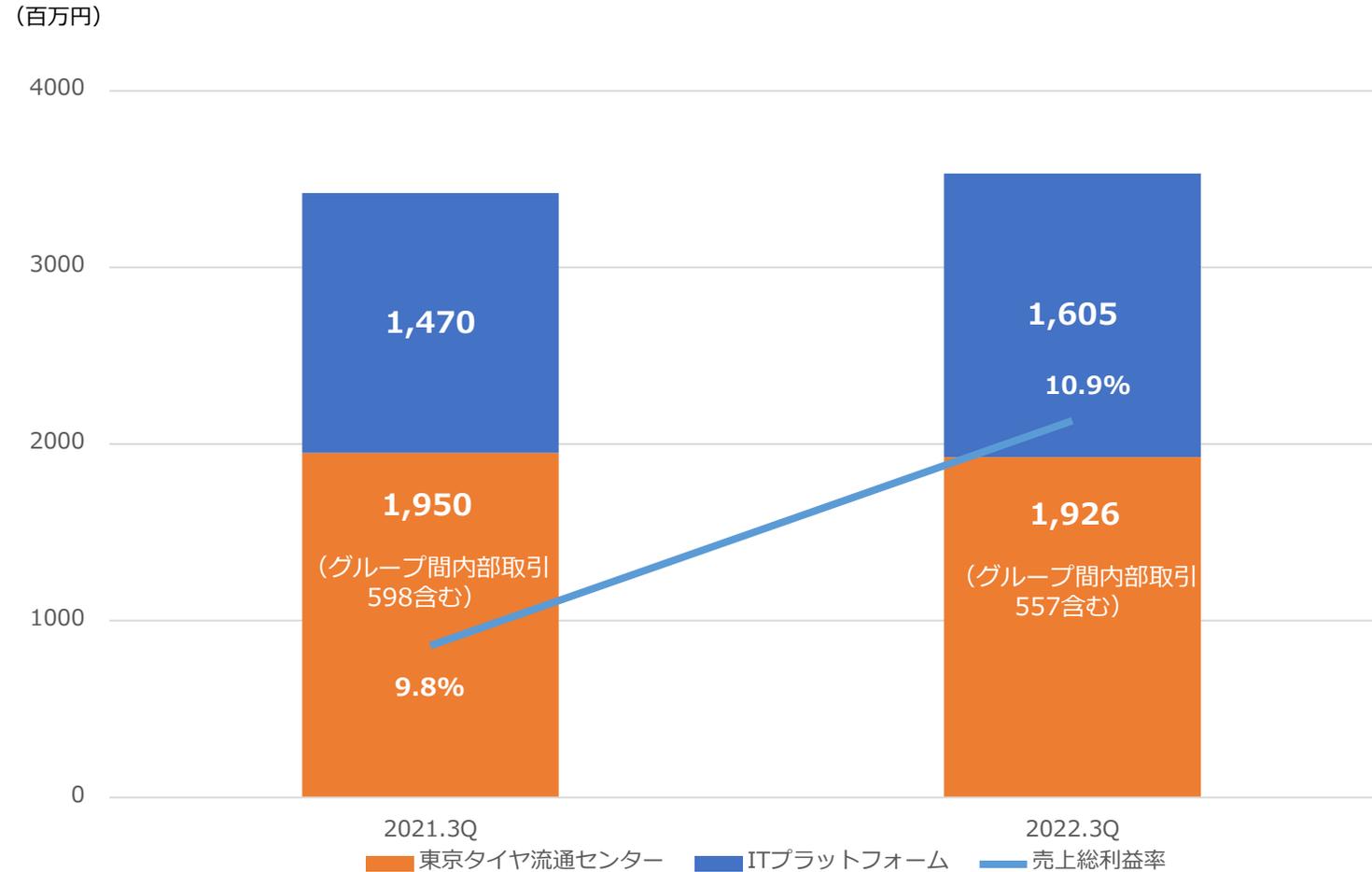


- ・ 直営店の3Q累計売上高対前年比は全店で103.1%、既存店で104.6%と好調に推移
- ・ 売上総利益率は前期比で1.1%増加
- ・ EC販売比率の増加により既存店客単価は対前年比110.9%と売上高増加に寄与

売上分類（EC手数料・FCロイヤリティ等）



- ・ FC店の売上高対前年比は全店で106.0%、既存店で102.9%と好調に推移
- ・ FC店の売上高増加に伴い、EC手数料・ロイヤリティ等が増加



- ・ 流通卸売業態の売上高（内部取引消去後）は前期比で5.0%増加
- ・ 売上総利益率は前期比で1.1%増加

APPENDIX

(株)クルーバー



【経営管理、システム開発、自動車業界特化型人材紹介】

(株)アップガレージ



【リユース業態】

直営店舗

フランチャイズ運営

モール型ECサイト

「Crooober.com(クルーバードットコム)」運営

(株)ネクサスジャパン



【流通卸売業態】

「東京タイヤ流通センター」

「チェーン展開企業向けITプラットフォーム」

UP GARAGE

豊かなカー&バイクライフを
世界中の人々に提供する

カー&バイク用品の中古買取・販売を行う『アップガレージ』

カー用品に特化したリユース用品店のパイオニアとして、中古商品に対して保証を付けるという業界初の取り組みとカー用品バイク用品に精通した従業員の豊富な専門知識により、20年以上リユースカー&バイク用品の業界トップを走り続けております。

ターゲットゾーンの拡大

アップガレージのターゲットゾーン

クルマやバイクに使える費用が多い

新品カー用品店

新品バイク用品店

ディーラー

チューニングショップ

クルマやバイクへの関心が低い

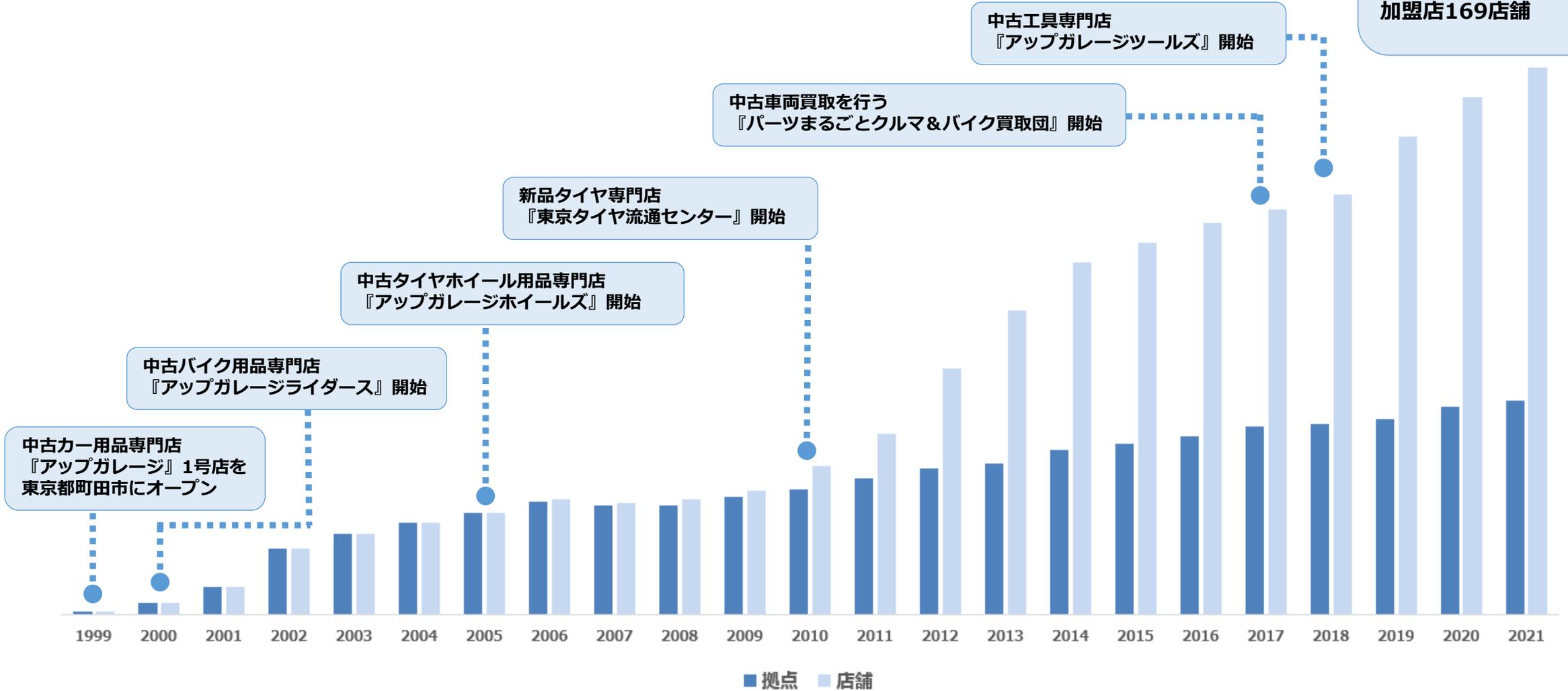
クルマやバイクへの関心が高い



クルマやバイクに使える費用が少ない

アップガレージブランドの沿革

2021年12月時点
アップガレージチェーン
直営46店舗FC195店舗
東京タイヤ流通センター
加盟店169店舗



■ 拠点 ■ 店舗

アップガレージチェーン国内160拠点、ブランド別241店舗のリアル店舗基盤

ブランド別店舗数

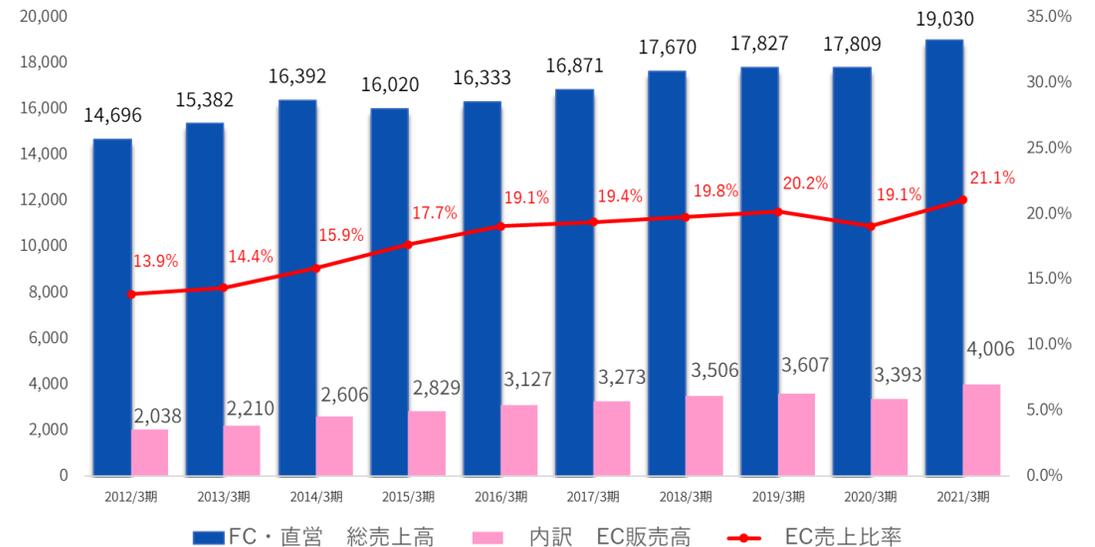
店舗ブランド数は、2021年12月末日現在

ブランド一覧	直営店	FC店	合計
アップガレージ	22	105	127
アップガレージ ライダース	12	48	60
アップガレージ ホイールズ	4	8	12
アップガレージ ツールズ	6	19	25
クルマ&バイク まるごと買取団	2	15	17
アップガレージ合計	46	195	241
東京タイヤ流通センター	25	144	169
ブランド合計	71	339	410

アップガレージチェーン取扱高推移

直営店とフランチャイズ店舗の売上高 (海外EC除く)

(単位: 百万円)

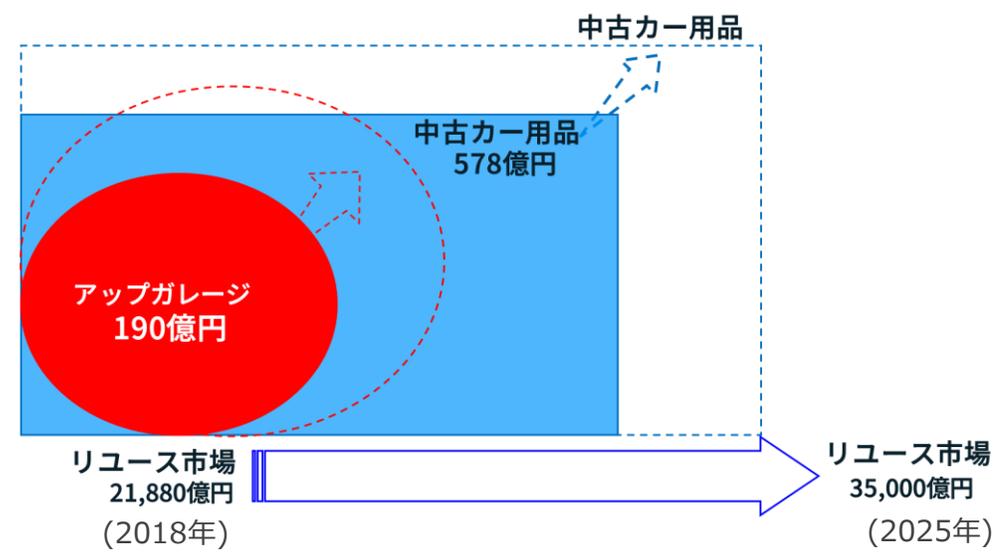


(注)1. 海外EC売上高は除く、直営・フランチャイズ店舗売上高の総額
2. フランチャイズロイヤリティ収入、EC手数料収入、その他本部収入等は含めておりません。

安定的かつ着実な新規出店を進めていき、
長期的にはメインブランドの「アップガレージ」
で**300店舗**を目指す

- ・リユース市場規模の拡大
- ・クルマの使用年数の増加によるカー用品購入需要の増加

中古カー用品市場



※出典：(株)リフォーム産業新聞社 リサイクル通信
「中古市場データブック2020・2021」

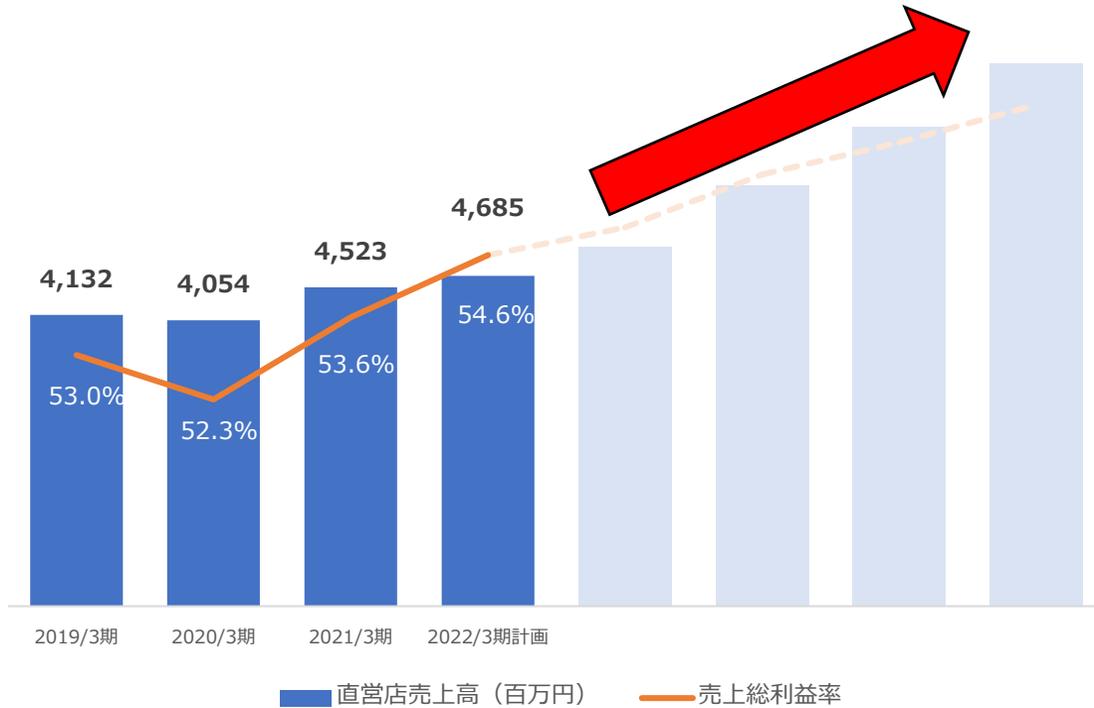
新車・中古車登録台数、使用年数推移



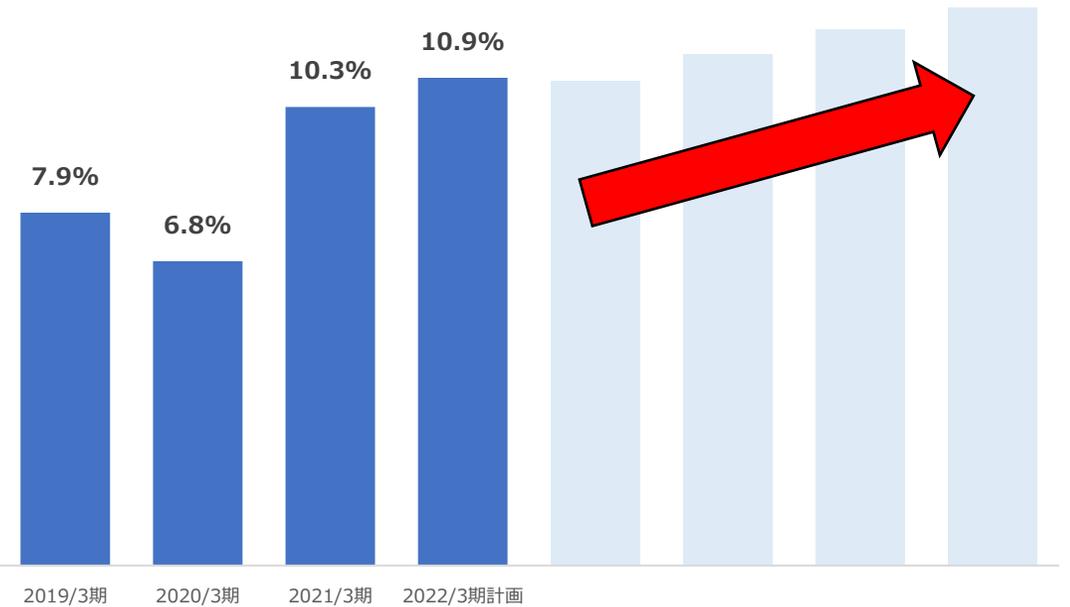
※出典：(株)矢野経済研究所発行 「自動車アフターマーケット総覧2020年版」

- ・コロナ禍での移動手段として自家用車の利用頻度の高まり
- ・密を避けるドライブやツーリング等のクルマ・バイクのレジャーや趣味の流行

直営店売上・売上総利益率



直営店営業利益率

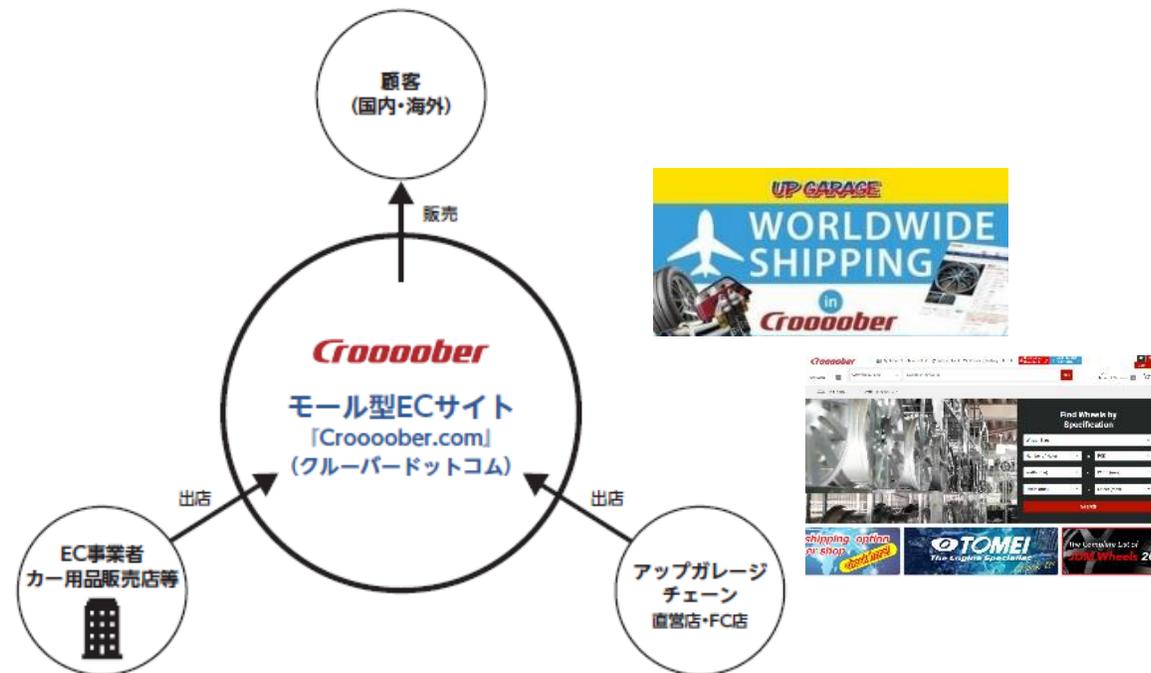


安定的な新規出店とリユース業態の高い利益率、フランチャイズビジネス展開で
着実な成長と収益基盤の構築を目指す

モール型ECサイト『Crooober.com（クルーバードットコム）』

2013年モール型ECサイト『Crooober.com（クルーバードットコム）』を立ち上げました。在庫管理システムとの連動によりアップガレージチェーン全店舗の全商品を店舗エリアに影響されずに、お客様が求めるカー用品・バイク用品を全国に販売しております。

2015年には海外向けEC販売もスタートし、アメリカ合衆国を中心として世界中のお客様にカー用品・バイク用品をお届けしております。



ECサイトの特徴

ECで一品モノ商品との
出会いが広がる

EC検索から店舗誘客も増

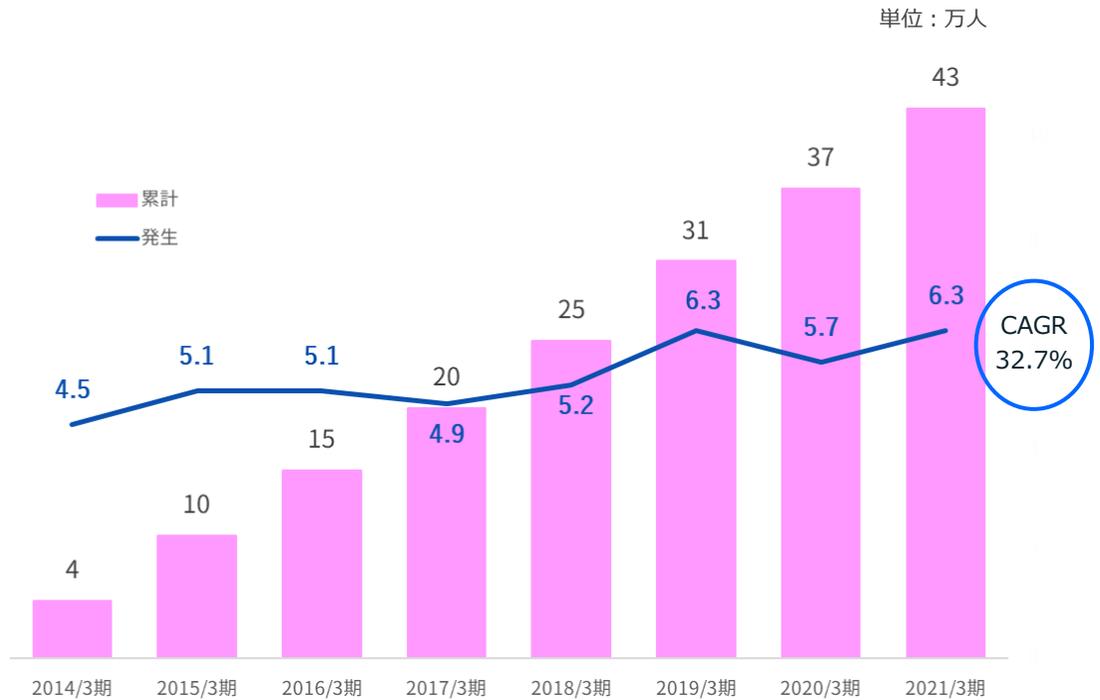
販売単価の増加

店舗:10,000円／EC:15,000円

海外150ヶ国以上に販売

アップガレージ外の
加盟店出品

サイト会員数の推移





NEXUS Japan

欲しいが見つかる

自動車用品業界の流通を変えるITプラットフォーム

膨大な種類とパーツ毎にメーカーが異なる自動車用品業界の受発注をオンライン上で行うITプラットフォームを提供しております。これにより受発注のIT化（ペーパーレス化）を実現し、メーカー様の加入をたくさん頂いております。今後は全国の中小規模の整備業や中古車販売業等に取扱いを広げることで、自動車用品業界のサプライチェーンの改革を進めてまいります。



ITプラットフォーム「NEXLINK（ネクスリンク）」

プラットフォーム「NEXLINK（ネクスリンク）」

東京タイヤ流通センター

- ・受発注・納品・支払のプラットフォーム
- ・オリジナルサービス
新品タイヤ「3プライス」パッケージ

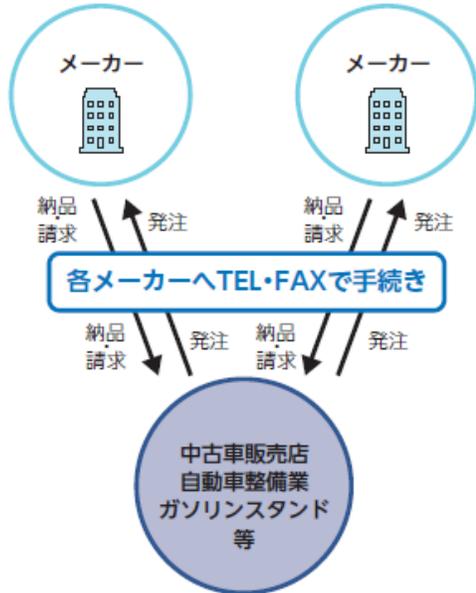
・加盟店数 2021/3期：15店舗 2021/12月末：169店舗

チェーン展開企業向け ITプラットフォーム

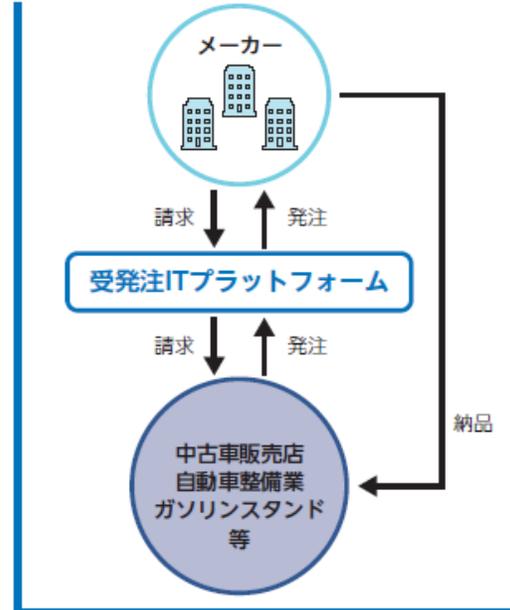
- ・大手中古車チェーン企業、FCチェーン企業向け卸売のためのITプラットフォーム
- ・顧客企業専用画面、本部管理機能、支払の当社一元化機能を追加

・2021/3期：7社、2021/12月末：17社

従来の受発注
(各メーカーへTEL・FAXで手続き)

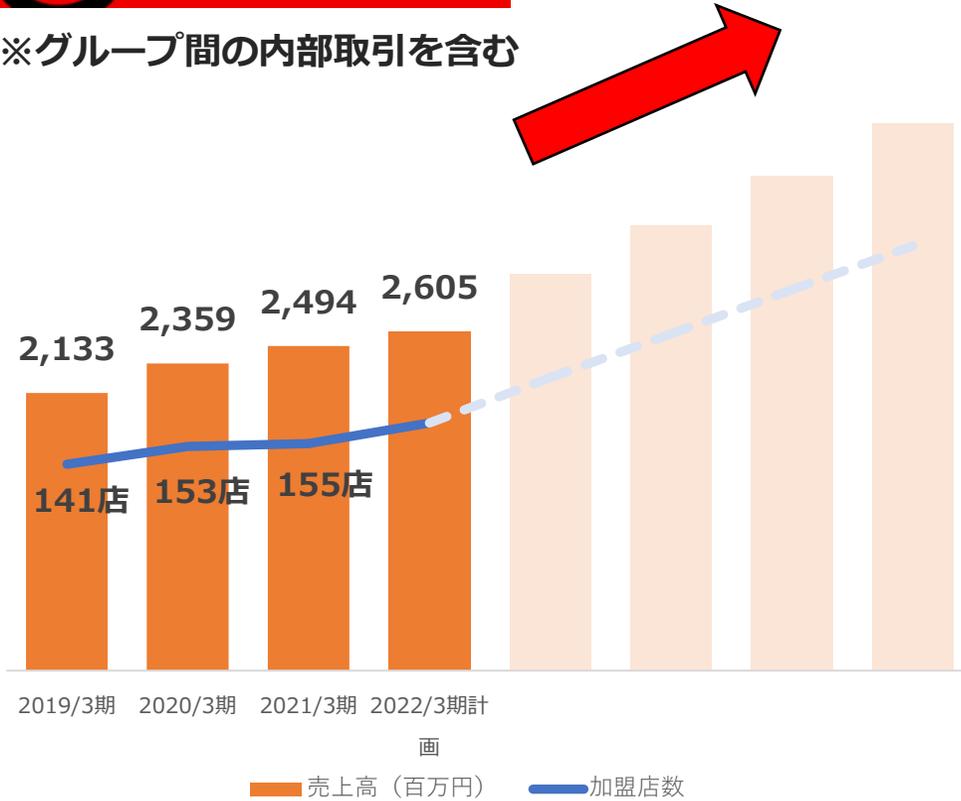


ITプラットフォームで受発注
(オンライン上で完結)



東京タイヤ流通センター

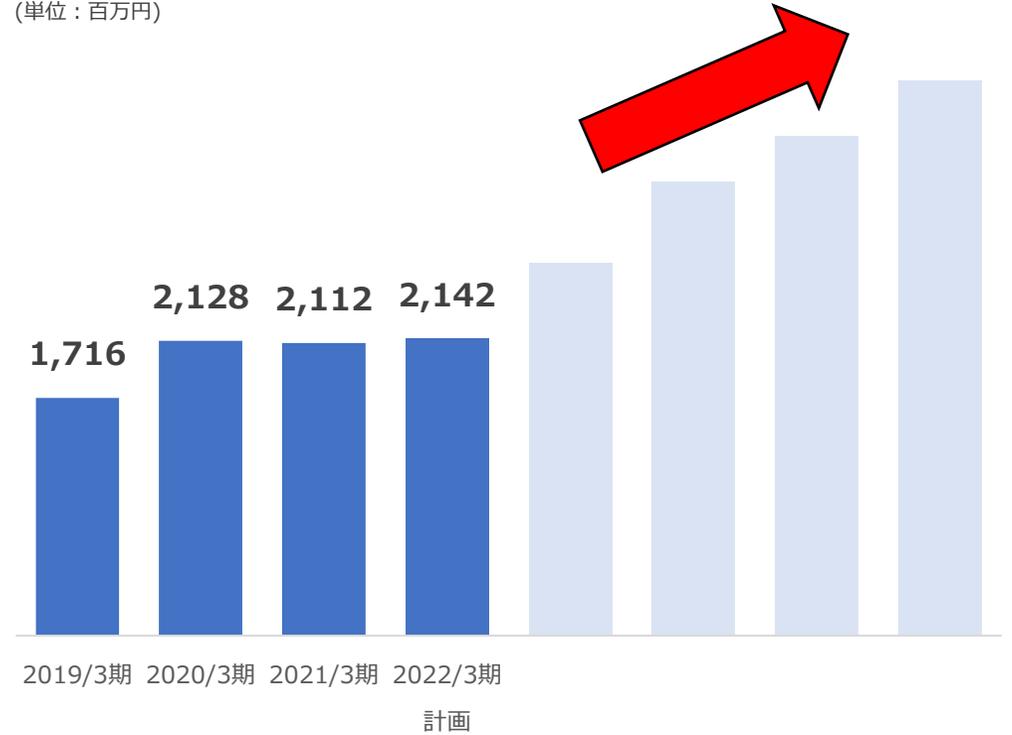
※グループ間の内部取引を含む



「東京タイヤ流通センター」新規加盟店の拡大を目指す

チェーン展開企業向けITプラットフォーム

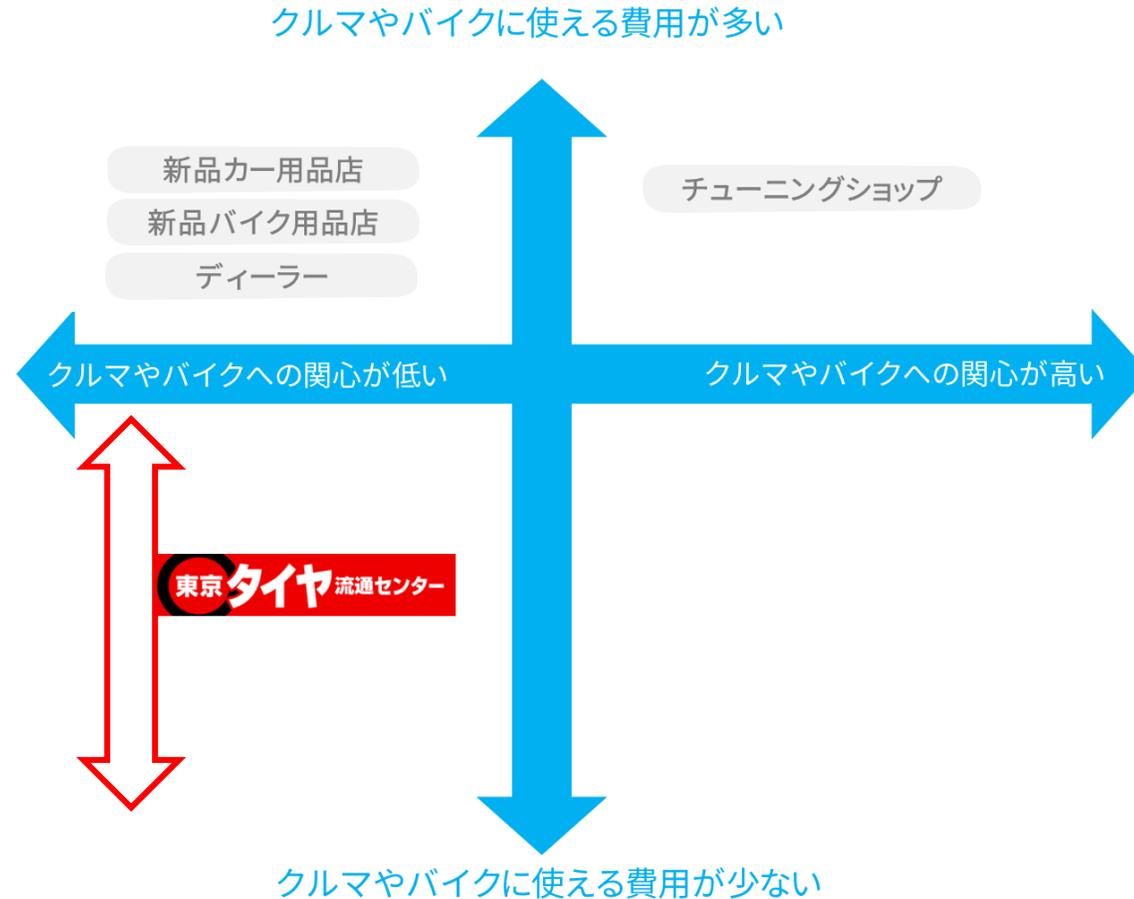
(単位：百万円)



大手中古車チェーン等のチェーン展開企業の獲得による取扱高の拡大を目指す

ターゲットゾーンの拡大

ネクサスジャパンのターゲットゾーン



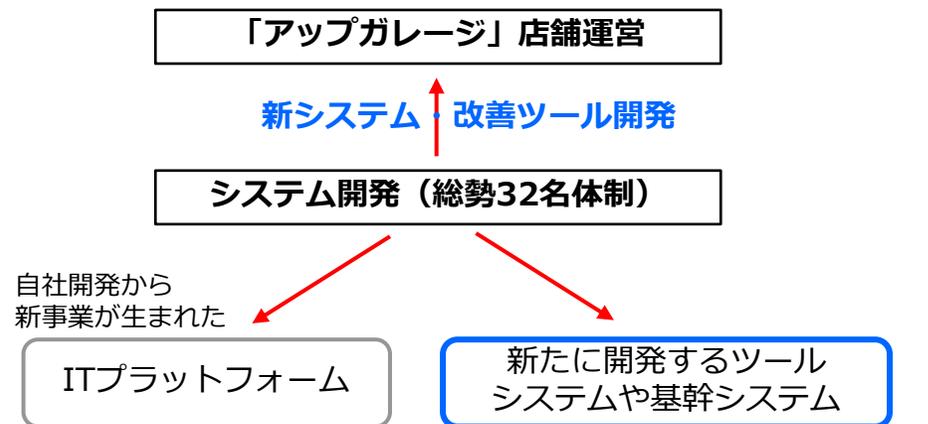
経営理念



マーケットを広げて、楽しさを伝える

当社グループは、「マーケットを広げて、楽しさを伝える」という経営理念のもと、自動車関連事業での様々な革新と市場環境の変化に機動的に対応し、お客様一人ひとりの体験価値を創り出します。

システム開発部門(ZERO TO ONE)



- ・ 小売業から本格的なITプラットフォームへ

USAへの展開

- (現在)
- ・ 現地倉庫拠点でEC販売



- (今後)
- ・ 北米での店舗展開と現地買取の実施
 - ・ 直営店舗、フランチャイズ店舗とECで拡大

自動車業界特化の人材紹介

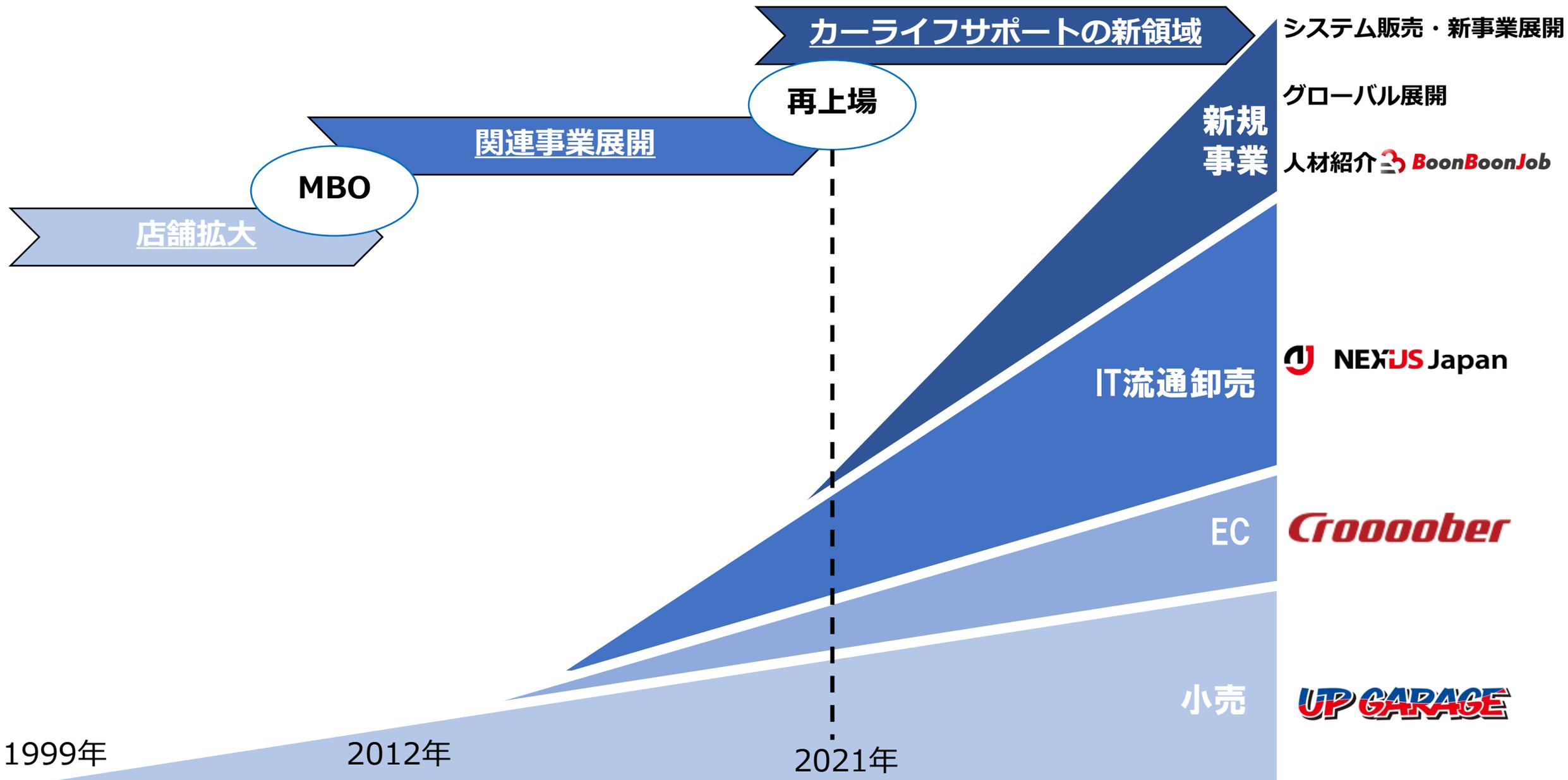


- ・ 2019年6月開始
- ・ 自動車業界に特化した人材紹介
- ・ 紹介料は6か月後の在籍確認時とした料金体系

出店拡大・新ブランド開発

- ・ リユース関連の新専門店ブランド開発

クルーバーの事業とグループの今後の戦略事業



DATE BOOK

3Q実績計画差異

(単位：百万円)	2022年3月期 3Q実績	2022年3月期 3Q計画	差異	計画比
売上高	7,821	7,572	249	103.3%
売上原価	4,549	4,365	184	104.2%
売上総利益	3,271	3,207	64	102.0%
販売費及び一般管理費	2,739	2,811	△71	97.5%
営業利益	532	396	136	134.4%
経常利益	531	393	137	134.9%
税金等調整前四半期純利益	531	393	137	135.0%
法人税等	216	126	89	170.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	315	267	48	118.1%

3Q実績前期差異

(単位：百万円)	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	差異	増減率
売上高	7,410	7,821	410	5.5%
売上原価	4,478	4,549	71	1.6%
売上総利益	2,932	3,271	339	11.6%
販売費及び一般管理費	2,505	2,739	234	9.3%
営業利益	426	532	105	24.7%
経常利益	443	531	88	19.9%
税金等調整前四半期純利益	441	531	90	20.5%
法人税等	149	216	66	44.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	291	315	24	8.3%

四半期連結P L実績推移

(単位：百万円)	2022年3月期 1Q	2022年3月期 2Q	2022年3月期 3Q
売上高	2,421	2,378	3,020
売上原価	1,372	1,399	1,777
売上総利益	1,049	979	1,243
販売費及び一般管理費	894	881	963
営業利益	155	97	279
経常利益	158	98	273
税金等調整前四半期純利益	158	99	273
法人税等	55	37	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	62	149

四半期会社別売上分類推移

(単位：百万円)		2022年3月期1Q	2022年3月期2Q	2022年3月期3Q
(株)アップガレージ リユース業態	店舗売上	1,085	1,060	1,364
	海外EC	77	61	56
	EC手数料	28	28	33
	FCロイヤリティ等	276	243	269
	本部・その他	91	108	79
(株)ネクサスジャパン 流通卸売業態	東京タイヤ流通センター	563	502	859
	ITプラットフォーム	467	542	595
(株)クルーバー		168	184	223
	連結調整	△338	△353	△459
	連結売上高	2,421	2,378	3,020

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は2021年12月23日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場いたしました。本資料に記載されている過年度実績数値については、非上場であったため、監査法人の監査を受けていない数値が一部含まれる場合があります。